

教 科		科 目		担 当 者	
家庭科		家庭基礎	単位数：2 単位	蕪木恵子	
指導目標					
基礎的な生活力を身につけ、自己実現のために適切な価値判断と意思決定をする力をつける。生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、男女が協力して主体的に家庭や地域の生活を創造する資質・能力を育成することを旨とする。					
高校通信講座	あり	講座数：全 20 回	教科書	大修館 新家庭基礎	
スクーリング	1 単位時間×2 回 2 単位時間×1 回	合格時間数 2 時間以上	学習図書	自校作成の教材資料を使用	
レポート	全 6 回	合格枚数 6 枚	副教材	大修館スキルアップ家庭科	
期末試験	あり	期末試験評価割合 70%	評 定	100 点法 5 段階評定	

回	配信日付	高校通信教育講座 (学習項目)	レポート (締切期日)	スクーリング (日程と内容)
1	4/6	入門講座～家庭科を学ぶ～		第 1 回 5/15 (日) 5/11 (水)
2	4/6	家族と法律	第 1 回	刺し子について学ぶ。裁縫の基礎(玉止め、玉結び、なみ縫い)を確認し、刺し子を用いて布巾を縫う。玉結びは指を使って正しく作れるように指導する。玉止めは布から浮いてしまうと刺繍部分が緩んでしまうので、きちんと布にくっついた状態で出来上がるように繰り返し練習させていく。
3	4/13	子どもを育てる	4 月 20 日	
4	4/20	高齢期を生きる	第 2 回	
5	4/27	経済生活をつくる①	5 月 6 日	
6	5/4	経済生活をつくる②	第 3 回	
7	5/11	食生活をつくる①	5 月 18 日	
8	5/18	食生活をつくる②	第 4 回	
9	5/25	食生活をつくる③	6 月 1 日	
10	6/1	衣生活をつくる	第 5 回	
11	6/8	住生活をつくる	6 月 15 日	
12	6/15	調理のいろは	第 6 回	第 2 回 6/26 (日) 6/22 (水)
13	6/22	変わりゆく衣食住		刺繍の部分完成させ、布巾の形を縫い上げていく。刺繍が終えた生徒は布を布巾の形にしていく。きちんと採寸して正方形に仕上がるようにしていく。まち針の正しい使い方を理解させ、作成していく。
14	6/29	和の暮らし		
15	7/6	資源・環境		
16	7/6	期末試験に向けて		
17	7/6	期末試験に向けて		
18	7/27	世界の食文化		
19	8/17	美しい暮らし	第 3 回 8/28 (日) 8/31 (水)	
20	8/17	未来に向かって	期末試験： 9/7 (水) 試験範囲は第 2 週～第 11 週、レポート 1 回～5 回 ※スクーリングと期末試験は、日/水のクラスごとに実施 ※スクーリング 1・2 回目は 1 時間、3 回目は 2 時間です	

2022年度春学期学習予定表

東海大学付属望星高等学校

教 科		科 目		担 当 者	
家庭科		家庭基礎	単位数：2 単位	蕪木恵子	
<p>指導目標</p> <p>生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を通して、様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、男女が協力して主体的に家庭や地域の生活を創造する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1)人間の生涯にわたる発達と生活の営みを総合的に捉え、家族・家庭の意義、家族・家庭と社会との関わりについて理解を深め、家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて、生活を主体的に営むために必要な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2)家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して生活の課題を解決する力を養う。</p> <p>(3)様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活を主体的に創造しようとする実践的な態度を養う。</p>					
高校通信講座	あり	講座数：全 20 回	教科書	大修館書店 クリエイティブ・リビング	
スクーリング	1 単位時間×2 回 2 単位時間×1 回	合格時間数 2 時間以上	学習図書	自校作成の教材資料を使用	
レポート	全 6 回	合格枚数 6 枚	副教材	なし	
期末試験	あり	期末試験評価割合 70%	評 定	100 点法 5 段階評定	
回	配信日	高校通信教育講座 (単元・学習内容)	レポート (締切期日)	スクーリング (日程と内容)	
1	4/6	家庭基礎の学習について ～入門編～		第 1 回 4/22 (金)	
2	4/6	生活のマネジメント、青年期の課題と自立	第 1 回 4 月 20 日	伝統刺しゅう『刺し子』について、歴史的背景をふまえ、貴重な資源を大切に使うことを学ぶ。裁縫の基礎(玉結び、なみ縫い、玉止め)を確認し、布巾を作成していく。	
3	4/13	家族・家庭生活			
4	4/20	子どもの生活と子育て	第 2 回 5 月 6 日	第 2 回 6/10 (金)	
5	4/27	高齢期の生活、共生社会をつくる			
6	5/4	食生活のマネジメント①	第 3 回 5 月 18 日	『刺し子』刺しゅうを行なう。針の進め方や縫い物の基礎を理解させ、布巾として使える段階までを目標に進めていく。	
7	5/11	食生活のマネジメント②			
8	5/18	食生活のマネジメント③	第 4 回 6 月 1 日	第 3 回 7/15 (金)	
9	5/25	衣生活のマネジメント			
10	6/1	住生活のマネジメント	第 5 回 6 月 15 日	刺しゅう部分を縫い進めながら、いくつかの糸のつなぎ方を学び、完成に仕上げていく。	
11	6/8	経済生活①			
12	6/15	経済生活②	第 6 回 6 月 29 日		
13	6/22	持続可能な社会①			
14	6/29	持続可能な社会②	期末試験：9/7 (水) 試験範囲：第 2 回～第 11 回、レポート 1 回～5 回 スクーリング：第 1、2 回は 1 時間、第 3 回は 2 時間		
15	7/6	食事計画			
16	7/6	期末試験に向けて			
17	7/6	期末試験に向けて			
18	7/27	和の暮らし①			
19	8/17	和の暮らし②			
20	8/17	未来のデザイン			